

練馬高校 令和4年度【書道Ⅱ】年間授業計画

教科:(芸術)科目:(書道Ⅱ) 対象:(第2学年1・2・3・4組)

使用教科書:書Ⅱ(光村図書)

使用教材:

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道Ⅱ の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数	
4 月				
	◆さまざまな楷書 始平公造像記	<ul style="list-style-type: none"> ・北魏の書、書き手の個性による楷書の多彩な表現を漢字とらせる。 ・基本的な「造像記」の切れ味のある点画、肉太な線を練習する。 ・直筆と側筆を交えた運筆を習得する。 	用筆や運筆によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。	2
	◆さまざまな楷書 始平公造像記	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と臨書を通して、「始平公造像記」の書風や特徴を捉えさせる。 ・書風に即した用筆、運筆を工夫して臨書する。 	蕉風を捉え、それに即した用筆運筆を工夫して表現している。	2

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数	
◆さまざまな楷書 始平公造像記	・鑑賞と臨書を通して、「始平公造像記」の書風や特徴を捉えさせる。 ・書風に即した用筆、運筆を工夫して臨書する。	蕉風を捉え、それに即した用筆運筆を工夫して表現している。	2	
◆さまざまな行書 松風閣詩巻	・北宋の四大家について知り、書史としての黄庭堅の書の立ち位置を学習する。 ・書き手の個性による行書の多彩な表現を感じ取らせる。	松風閣詩巻を分析し、行書の多彩な美を感じ取っている。	2	
5 月				
	◆さまざまな行書 松風閣詩巻	・「松風閣詩巻」の独特な結構、抑揚に富んだ線質を鑑賞する。 ・その書風や特徴にポイントをおきながら、注意して形臨する。	用筆や運筆によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している	2
	◆さまざまな行書 松風閣詩巻	・半切2行書きの作品を制作する。 ・条幅の書き方、落款の入れ方を習得する。 ・書風に即した用筆、運筆を工夫して臨書する。	線質、字形、全体構成などの表現技法を習得している。	2

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数	
6 月				
	◆篆書 石鼓文	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれた時代や書き手の個性による篆書の多彩な表現を感じ取らせる。 ・「石鼓文」(大篆)と「篆書崔子玉座右銘四屏」(小篆)を比較し、篆書の多彩な表現を感じ取る。 	線質、字形、全体構成など、表現の技能を習得している。	2
	篆書体の歴史 篆刻(姓名印)	<ul style="list-style-type: none"> ・殷代の甲骨文から秦代の小篆までの書体変遷を再確認する。 ・「多宝塔碑」の拓を用いて、鑑蔵印を確認し、時代ごとによる印の役割の変遷を理解させる。 ・書体や書風、配字による表現効果を鑑賞する。 	印の歴史や、表現に関心をもっている。	2
	検字 印稿	<ul style="list-style-type: none"> ・小篆、印篆、金文のすべてを書道辞典を用いて、検字する。 ・書体や書風、配字による表現効果を理解し、構想を練らせる。 ・黒画用紙を用いて、印稿(捺印した時の完成図)を作成させる。 	書体や書風、配字による表現効果を理解し、意図に応じて構想を練っている。	2
	布字 運刀	<ul style="list-style-type: none"> ・印稿を鏡に映し、文字を反転したものを(鏡文字)篆書の字形に留意しながら、印面に入れてゆく。 ・陽刻や陰刻によって、運刀の違いを理解させる。 	篆刻に関心をもち、制作に主体的に取り組んでいる。篆刻に必要な技能をしゅうたくし	2

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
押印と補刀 印譜の制作 (遊印の制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・一度押印させ、印稿と比べて不足している部分を補刀させる。 ・和綴じの方法を習得する。 	篆刻に関心をもち、制作に主体的に取り組んでいる。伝統的な表具方法を習得する。	2

7
月

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8 月			

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道Ⅰ の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
◆隷書 乙瑛碑	<ul style="list-style-type: none"> ・「乙瑛碑」の鑑賞・臨書を通して隷書の特徴を捉え、書体に即した用筆・運筆を理解させる。 ・隷書の特徴について話し合い、扁平な字形や水平垂直の構成、藏鋒による起筆、波磔・波勢などを確認する。 	隷書の特徴を捉え、基本的な点画や線質の表し方と用筆の関係を理解して臨書している。	2
隷書崔子玉座右銘	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞・臨書を通して「隷書崔子玉座右銘」の書風や構成の特徴を捉えさせる。 ・書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 	「隷書崔子玉座右銘」を分析し、隷書の多彩な美を感じ取っている。	2
隷書崔子玉座右銘	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞・臨書を通して「隷書崔子玉座右銘」の書風や構成の特徴を捉えさせる。 ・書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 	線質、字形、全体構成など、表現の技能を習得している。	2
◆草書 十七帖(三井本)	<ul style="list-style-type: none"> ・既習した古典や書体と比較をさせ、草書の字形や線質の特徴を鑑賞させる。 ・拓本による書風の違いを確認する。 ・「十七帖」の鑑賞・臨書を通して草書の特徴を捉え、書体に即した用筆・運筆を理解させる 	「十七帖」を分析し、その美を感じ取っている。	2

9月

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道Ⅰ の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
十七帖(上野本)	<ul style="list-style-type: none"> ・拓本による書風の違いを確認する。 ・「十七帖」の鑑賞・臨書を通して草書の特徴を捉え、書体に即した用筆・運筆を理解させる 	草書の特徴を捉え、基本的な点画や線質の表し方と用筆の関係を理解して臨書している	2
真草千字文	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれた時代や書き手の個性による草書の多彩な表現を感じ取らせる。 ・「真草千字文」と「草書諸上座帖巻」を比較し、草書の多彩な表現を感じる。 	「真草千字文」「草書諸上座帖巻」の表現技法に関心をもち、その美を味わおうとしている。	2
10月			
真草千字文 氏名の検字(草書で検字) 狂書の鑑賞をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞・臨書を通して「真草千字文」の書風や構成の特徴を捉え、書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 ・草書の落款が入れられるように練習させる。 ・ 		2

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
◆漢字の書まとめ 座右の銘を書く	・感興や意図に応じて素材を選び、既習した古典に基づいて書体や書風、表現形式や全体構成を工夫し、構成的に表現させる。 ・創作活動を通して充実感や喜びを味わせる。	古典を通して学んできた各書体の表現技法や紙面構成を表現に生かしている。	2
座右の銘を書く	・感興や意図に応じて素材を選び、既習した古典に基づいて書体や書風、表現形式や全体構成を工夫し、構成的に表現させる。 ・創作活動を通して充実感や喜びを味わせる。	創作に主体的に取り組んでいる。	2
11月			
◆仮名 本願寺本三十六人家集 仮名の基本用筆の復習 (平仮名・変体仮名)	・書道史における仮名の隆盛期について理解させる。 ・古筆を鑑賞し、その美を構成する諸要素や、表現方法・形式などを理解させる。 ・平仮名と変体仮名の組み合わせによる表現方法を鑑賞させる。	仮名や古筆の歴史を踏まえつつ、表現技法、紙面構成、用具・用材の効果を分析し、その美を感じ取っている。	2
高野切第一種	・鑑賞・臨書を通して「高野切第一種」の書風の特徴を捉え、連綿や墨継ぎなど、書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 ・連綿の基本である形連、意連について確認する。	連綿や墨継ぎなどに、書風に即した用筆・運筆に関心を持ち、その美を味わおうとしている。	2

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
香紙切	<ul style="list-style-type: none"> ・「香紙切」の大胆な連綿や線の太細、疎密の変化を鑑賞する。 ・鑑賞・臨書を通して「香紙切」の表現の特徴を捉え、書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 	古筆の線質、字形、墨色、仮名の組み合わせ方など、表現の技能を習得している。	2

12
月

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
元永本古今和歌集	<ul style="list-style-type: none"> 古筆の紙面構成には、自然や四季の移ろいが反映されていることを理解させる。 鑑賞・臨書を通して「元永本古今和歌集」の構成の工夫を理解させる。 	雁行や藤棚に見立てた散らし書きの構成に関心を持ち、その美を味わおうとしている	2
継色紙	<ul style="list-style-type: none"> 日本文化における「空間」の美意識について理解させる。 鑑賞・臨書を通して「継色紙」の構成美を理解させる。 	空間を生かした散らし書きの構成に関心を持ち、その美を味わおうとしている。	2
継色紙	<ul style="list-style-type: none"> 日本文化における「空間」の美意識について理解させる。 鑑賞・臨書を通して「継色紙」の構成美を理解させる。 	空間を生かした散らし書きの構成を理解して臨書している。	2

1
月

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
◆漢字仮名交じり書◆ 表現の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「漢字仮名交じりの書」は、日頃の思いや好きな言葉、歌詞を素材にできることを知る。 ・著作権の概要を知る。 ・古典の学習を生かして、漢字と仮名を調和させる方法と表現の構想力を養わせる。(教科書の書家の背臨作品を鑑賞する) 	表現方法や形式による表現の効果を分析し、筆者の意図や作品の美を感じ取っている。	2
紙面構成	<ul style="list-style-type: none"> ・意図に即した用筆・運筆および用具・用材を選択させ、表現形式に応じて全体の構成を工夫して表現させる。 	もとにする古筆の特徴を的確に捉え、表現の意図に応じて仮名と漢字の調和、全体構成、用具・用材などを工夫している。	2

2月

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
硬筆(実用書)	・毛筆から離れ、ペン字で実用的な書が表現できるように練習させる。	基本的な執筆法について理解し、習得できている	2

3
月